

織笠川水門の整備が進んでいます！！

～ 土木一期工事、順調に進捗 ～

沿岸広域振興局土木部 宮古土木センター

二級河川織笠川の津波対策として、県が山田町で整備を進めている織笠川水門の工事が順調に進んでいます。

織笠川水門は、明治29年三陸大津波相当の津波を防ぐことを目的に、津波の河川遡上を防ぐ水門と住宅への侵入を防ぐ防潮堤により構成されています。

水門の工事は、大きくは右岸側と左岸側に分け、さらに水門本体は土木工事と機械設備工事に分けて施工します。現在は、まだ水門土木一期工事（右岸側の土木工事）の段階です。これまでの工事で、地盤改良、杭基礎、水門本体（4号、5号堰柱）を施工し、現在の工事では3号堰柱、翼壁、水叩き、護床、取付護岸などを施工しています。現在は、本体部がほぼ完成し、カーテンウォール（水門ゲート上部のコンクリート壁）や取付護岸等を施工しているところです。土木一期工事の終了後は、右岸側の取付防潮堤や機械設備工事を進めていく予定です。

また、7月と8月の2ヶ月間（19時～21時）現場のライトアップを行っていますので、近くにお越しの際は是非ご覧ください。

